

変奏曲の 絵画の

宮本三郎

PATTERNS
AND
VARIATIONS

開館時間 | 10:00~18:00(最終入館は17:30まで)

休館日 | 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)、10月9日(月・祝)、1月8日(月・祝)、2月12日(月・振替休日)は開館、10月10日(火)、1月9日(火)、2月13日(火)は休館、年末年始(12月29日~1月3日)

観覧料 | 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上/中小生100円(80円)

障害者の方は100円(80円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。()内は20名以上の団体料金 *世田谷区内在住・在学の小・中学生は土、日、祝・休日は無料

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

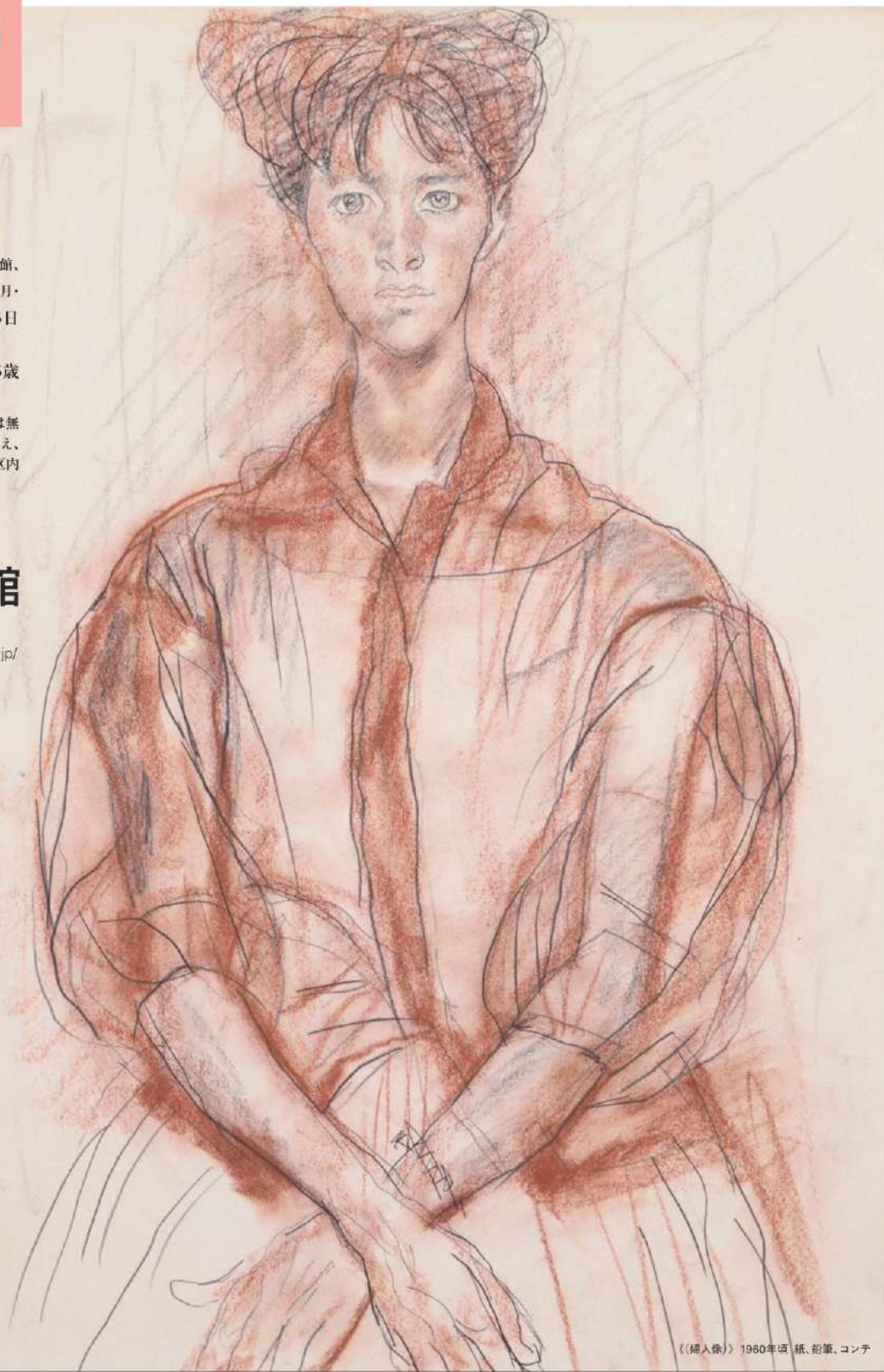
〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13

TEL.03-5483-3836 <http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

2023
10.7 sat.



2024
3.10 sun.



宮本三郎

絵画の 変奏曲

PATTERNS AND VARIATIONS



1



2



3



4



5

洋画家・宮本三郎(1905-1974)の画業を振り返ると、めまぐるしいほどの画風の変遷に驚かされる一方で、ひとつの主題をさまざまなヴァリエーションで描いていたことがわかります。たとえば1930年代半ば頃の、浴衣をまとった女性を描いた作品では、背景に配したテキスタイルや金魚鉢など、マティスの影響を思わせるモチーフが共通する作例が複数存在します(図版1,2)。それらは同じ画題を描きつつも、モデルのポーズや構図、あるいはキャンバスの寸法そのものにも違いがみられるなど、宮本の創意工夫と試行錯誤の跡がみとれるものです。

ほかにも、同じセッティングで裸婦を描きつつ、抽象化の度合いを幾通りか試した1950年代の一連の作品や(図版3,4)、同一のモデルに同じようなヘアスタイルやポーズをとらせながらも(図版5,表画)、全体をまとめる色調を赤、青、緑などに変えて制作を重ねるなど、画面上に変化をもたらす実験的な試行の痕跡がうかがえるものもあります。

これらは単に本作と習作といった関係性にとどまらず、画家の創造のヴァリエーションとして、また、宮本の探求心の表れとして、鮮やかな印象を放っています。宮本が制作の拠点とした、アトリエ兼住居に遺された作品群をまとめて収蔵する宮本三郎記念美術館ならではの彼の着想そのものに触れることのできるコレクションといえるでしょう。宮本三郎の旺盛な探求心によって展開される、絵画の変奏曲をお楽しみください。

1《金魚鉢と女》1936年/2《(室内)裸婦》1937年/3《画室の裸婦》1954年/4《裸婦》1954年/5《青い背景》1960年 すべてキャンバス、油彩 ※作品名の()は不詳のため仮題

イベント情報

会期中の関連イベントについては、ウェブサイトをご覧ください(決定次第、随時更新)

世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13
TEL.03-5483-3836 <http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

[交通案内]

◎電車…東急東横線・大井町線「自由が丘」駅より徒歩7分/東急大井町線「九品仏」駅より徒歩8分/東急目黒線「奥沢」駅より徒歩8分 ◎バス…東急バス(渋11)田園調布駅～渋谷駅「奥沢六丁目」下車徒歩1分/東急バス(園01)田園調布駅～千歳船橋駅「浄水場前」下車徒歩10分



©宮本昭雄



世田谷美術館分館

向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区巻2-5-1
TEL.03-5450-9581
<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>



撮影:上野裕史

向井潤吉の描く民家と自然美 津々浦々のきらめき
2023年10月7日(土)～2024年3月10日(日)

世田谷美術館分館

清川泰次記念ギャラリー

〒157-0086 東京都世田谷区成城2-22-17
TEL.03-3416-1202
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>



©宮本昭雄

開館20周年記念 清川泰次のすべて
2023年10月7日(土)～2024年3月10日(日)

世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2
TEL. 03-3415-6011(代表)
<https://www.setagayamuseum.or.jp/>

[観覧会のご案内]
TEL. 050-5541-8600 (ハローダイヤル)

同時開催

企画展

土方久功と柚木沙弥郎——熱き体験と創作の愉しみ
倉俣史朗のデザイン——記憶のなかの小宇宙

美術家たちの沿線物語 小田急線篇

ミュージアムコレクションII

雑誌にみるカットの世界——「世界」(岩波書店)と「暮らしの手帖」(暮らしの手帖社)

ミュージアムコレクションIII

美術家たちの沿線物語 京王線・井の頭線篇

9月9日(土)～11月5日(日)

11月18日(土)～2024年1月28日(日)

2024年2月17日(土)～4月7日(日)

8月5日(土)～11月19日(日)

12月2日(土)～2024年4月7日(日)

※ご入館に際しては感染症予防のため手指消毒、検温にご協力ください。館内で十分な距離を保てない場合がありますので、マスクの着用を推奨しております。
※展覧会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合もございます。会期中の最新情報は美術館ウェブサイト等でお知らせいたします。